



先週の 17 日 (火)、第 3 学年全員を対象に、SGH・オープンキャンパスが本校で開催されました。生徒は 4 大学からお招きした 8 名の先生方の模擬講義から 2 講義を選択して受講しました。どの講義も、真剣に参加する生徒の姿が印象的でした。また、生徒の感想からは、学問への興味や学習に対する意識が高まり、大学・学部・学科の進路選択にも役立ったこと、**SGH で育成を目指す能力は大学が求める力であること**が分かります。

## ◇ 講義の概要

講師名	大学・学部・学科	講義内容	SGH課題
鈴木 健二	立命館大学 薬学部 教授	薬学部で何を学ぶのか (クスリのプロフェッショナル) になるために	先端技術研究
品谷 篤哉	立命館大学 法学部 教授	進路選択としての法学部—法学部の入口・中身・出口—	企業研究
船橋 伸一	富山大学アドミッションセンター教授	経済学で解き明かす収入と出身大学の相関関係	企業研究
大路 貴久	富山大学 工学部 教授	二次系システムのはなし	先端科学研究
海老原章郎	岐阜大学 応用生物科学部 教授	分子のレンズでものを見る—塗りがえられる生命像—	先端科学研究
宮坂 武志	岐阜大学 工学部 機械工学科 准教授	燃費の良いロケットによる宇宙ミッションの時代へ	先端科学研究
大原 良子	岐阜大学 医学部 看護学科 准教授	看護職で国際人になろう	地域社会研究
川島 正樹	南山大学 外国語学部 英米学科 教授	アメリカの時代はもう終わったのか?—南山の英米で学べる21世紀世界の行方—	学術研究

## ◇ 生徒の感想

- ・何かを発見した時の喜びや感動はとても大きいと思った。
- ・英語は入試だけでなく、仕事でも必ず使うことになるので大切に学びたい。
- ・大学はゴールでないこと、将来を見据えた進路選択が大切だと分かった。
- ・社会に役立たせるため、多くの分野を学ばなければならないことが分かった。
- ・将来、自分の考えを伝え議論できるように英語力を身に付けたいです。
- ・専門的に詳しい歴史を学び、大学で歴史を学びたいという思いが強くなった。
- ・英語での授業は集中力があるが、大学の授業に興味があった。
- ・工学部へ進学し、人の役に立つものを作ったり研究したりしたいです。
- ・今学習している物理の勉強などがいろいろと関わっていることが分かった。
- ・大学生になっても高校で学習した知識を用いることが多いことが分かった。
- ・自分の価値観が絶対でなく、柔軟性が重要だということを実感した。
- ・コミュニケーション能力の重要性が改めて分かった。